

## 第4章

## 基本方針等

### 1 基本方針

**エネルギー源の多様化や地球温暖化対策等の観点から、  
地域特性を活かした石川らしい再生可能エネルギーの導入を推進**

#### (1) 地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入

本県は、日照時間は全国平均を下回るものの、全国で有数の雨の多い地域であり水資源が豊富である。そして、森林資源が豊富であり、能登地域を中心に風況もよく、地域資源に恵まれた環境にある。また、本県の産業には、高い技術力を持つ企業が多数集積し、再生可能エネルギー関連機器の研究開発にチャレンジする企業も多い。これらの地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入を促進し、我が国の脱炭素社会の実現及びエネルギー自給率の向上に貢献する。

#### (2) 地域の活性化や産業振興などの政策課題の解決

今後、再生可能エネルギーが主力電源として持続的に導入していくためには、地域活性化や産業振興に資するなど、地域に価値をもたらし、地域で必要とされる再生可能エネルギー事業の普及を進め、地域に定着していく必要があることから、本県がこれまで進めてきた地域の課題解決につながる取組を引き続き推進し、こうした取組のさらなる普及を図っていく。

#### (3) 石川の豊かな自然環境、美しい景観及び県民の生活環境との調和

再生可能エネルギーは環境にやさしいエネルギー源ではあるが、設置場所や規模によっては、自然環境や景観、県民の生活環境へ影響を及ぼす可能性がある。そのため、再生可能エネルギーの導入推進にあたっては、石川の豊かな自然環境、美しい景観及び県民の生活環境との調和が図られるよう留意する。

### 2 計画期間

計画期間は、令和3(2021)年度からおおむね5年間とする。

なお、今後の国のエネルギー政策の動向や社会経済情勢の変更等を踏まえ、必要に応じて見直しを検討するものとする。

### 3 導入目標

国は、2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーについて、国民負担の抑制と地域との共生を図りながら、最大限の導入を進めていく。

本県としても、こうした国の方針に呼応して、地域特性を活かしながら、地域と調和した再生可能エネルギーの導入を推進していくため、以下のとおり、再生可能エネルギーについての導入目標を設定する。

なお、この導入目標は、本県の現状の電力需要量（令和元（2019）年度：約92億kWh）の50%程度を賄うことが可能な水準の発電電力量となっている。

#### ■ 導入目標

県内の再生可能エネルギーによる発電電力量を、**令和12（2030）年度までに46億kWh程度**とする。

現状（令和元（2019）年度）      目標（令和12（2030）年度）  
 24.8億kWh      →      46億kWh程度

	現状	目標
	令和元（2019）年度 発電電力量(kWh)	令和12（2030）年度 発電電力量(kWh)
合計	24.8億kWh <sup>※</sup>	46億kWh程度
太陽光	6.2億kWh	11億kWh程度
風力 (うち洋上風力)	2.3億kWh (0kWh)	11億kWh程度 (0kWh)
水力	14.9億kWh	15億kWh程度
バイオマス	1.5億kWh	9億kWh程度
地熱	0kWh	0kWh

※…端数処理の関係で、内訳の計と合計が一致しない（内訳の詳細はP8に記載）。

#### 【導入目標の考え方】

- これまでの導入推移や、今後の事業計画、本県のポテンシャル、今後の政策努力等を勘案して、算出したものである（積算にあたっての考え方は、参考資料3（P48～51）のとおり）。
- 地域との調和を前提に、再生可能エネルギーの推進という一定の方向性を示すものとして設定したものである。
- あくまでも現状を踏まえた目標であり、今後の国のエネルギー政策の動向や社会経済情勢の変更等を踏まえ、必要に応じて見直しを検討するものとする。